

APPLICATION PROCEDURES FOR OVERSEAS
STUDENT ADMISSION TO THE GRADUATE SCHOOL,
MASTER'S PROGRAM OF ENGINEERING 2015

2015年度

**大分大学大学院工学研究科
博士前期課程**

学 生 募 集 要 項

外国人留学生入試

APPLICATION PERIOD : FROM JUL. 22 (TUE.) TO JUL. 28 (MON.), 2014
出願期間 : 2014年 7月22日 (火) ~ 7月28日 (月)
EXAMINATION DATES : AUG. 19 (TUE.) AND AUG. 20 (WED.), 2014
試験期日 : 2014年 8月19日 (火) ~ 8月20日 (水)
ANNOUNCEMENT OF RESULTS : AUG. 29 (FRI.), 2014
合格者発表 : 2014年 8月29日 (金)

2014年5月

OITA UNIVERSITY



変化する、そして進化する。

大分大学

目 次

- 大分大学大学院工学研究科博士前期課程アドミッション・ポリシー 1
- 大分大学大学院工学研究科博士前期課程ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針） 4

○ 外国人留学生入試

日本語

- 1. 募集人員 6
- 2. 出願資格 6
- 3. 出願手続 6
- 4. 障がいのある者等の事前相談について 8
- 5. 選抜方法 8
- 6. 試験科目, 期日及び場所 9
- 7. 合格者発表 10
- 8. 入学手続 10
- 9. 注意事項 10

English

- 1. Departments, Courses and the Number to be Admitted 11
- 2. Qualifications for Candidates 12
- 3. Application Procedures 13
- 4. Prior Arrangement with Physically Handicapped Candidates or Other Candidates
with Disabilities 14
- 5. Screening 14
- 6. Examination Subjects, Date and Place 15
- 7. Announcement of Results 17
- 8. Entrance Procedures 18
- 9. Notes 18

○ 出願様式等

- 入学志願書, 履歴書
- 受験票, 試験会場案内図
- 入学検定料振替払込受付証明書（大学提出用）等貼付欄
- 払込取扱票
- 合格通知用住所シール
- 受験票返送用封筒
- 出願用封筒

大分大学大学院工学研究科博士前期課程アドミッション・ポリシー

基本理念

質の高い特色ある教育と研究を通じて、世界に通用する科学技術を創造し、もって地域に貢献するとともに、豊かな創造性、社会性及び人間性を備えた人材を育成することです。

教育・研究の目標

学生の立場にたった教育体制のもとで、自らの課題を探究する高い学習意欲と柔軟な思考力を有し、国際基準を満たすゆめなきない基礎学力と高度の専門知識を備えるとともに、豊かな人間性と高い倫理観を有する人材を養成することです。

求める学生像

工学研究科博士前期課程では、環境や社会に対する影響も予見しながら自然との共生や、真に人類に役立つ技術とは何かを自ら考え、先進的科学技術によって人類福祉に貢献する意欲をもち将来への可能性を秘めている人を求めています。

以上の観点と本学の求める学生像から、具体的には、次のような人を求めています。

1. 工学の分野に強い関心があり、深い専門知識と高度の技術を身につけることをめざしている人
2. 新しい課題を自ら見いだす着想力をもち、問題の解決に際しては計画的に調査や研究を行うことのできる強い意志をもっている人
3. 国際的な視野を有し、国際的に通用する能力や技術の獲得をめざしている人
4. 地球規模での課題に問題意識をもち、それらの課題と技術との融合について関心をもっている人

特に、各専攻では、次のような人を求めています。

〈機械・エネルギーシステム工学専攻〉

本専攻は、機械に関する基礎技術と利用技術、メカトロニクス、ロボティクスなどの制御の分野、新エネルギー、エネルギーの有効利用に関する技術開発および利用技術に重点を置く、機械工学・電気工学の総合的な教育と研究を行います。

以上のような教育理念に基づき、本専攻では次のような人を求めています。

1. 数学及び物理に関する基礎学力を備え、国語及び英語に関する基礎的な語学力も有し、自分の意見を論理的に説明できる人
2. 自ら問題を見だし、計画的にその解決をめざすことができるリーダーシップと行動力をもっている人
3. ものづくりに興味があり、そのために必要な深い専門知識を身につけて創造的な技術者や研究者となることをめざし、それによって人のために役立ちたいという強い意志をもっている人
4. 地球規模での課題に問題意識をもち、それらの課題と技術との融合について関心をもっている人

〈電気電子工学専攻〉

本専攻は、電気、電子、情報、通信等に代表される電気電子工学の広範な分野の中で、社会や環境に対する影響も予見しながら、人類の幸福・福祉に役立つ技術とは何かを積極的に考え、技術の発展や学問の進展に貢献することのできる人材の育成を目的にしています。

以上のような観点から、本専攻は次のような人を求めています。

1. 学部での基礎・専門科目の内容をよく理解して、最先端レベルでの電気電子工学の専門科目を学ぶために十分な能力をもっている人

2. 様々な学問分野に関心があり、その基礎や応用について自ら学び理解しようという知的好奇心をもっている人
3. 柔軟な着想力を持ち、何事にも積極的にチャレンジする行動力をもっている人

〈知能情報システム工学専攻〉

情報は現代の人間社会を構成する最も重要な要素であり、これを取り扱う技術が社会を左右することは既に明白な事実となっています。このような社会において、より高度で知的なIT（情報技術）の開発、普及が社会を発展させる源になると考えられます。

本専攻では、人の知を拡大する新世代知的IT革命の担い手となる国際的技術者・研究者を育てるという教育理念に基づき、次のような人を求めています。

1. 基礎から応用までの先端的な情報技術について学習と研究に取り組むことができる基礎的な能力と旺盛な知的好奇心をもっている人
2. 高度情報化社会において、新たな課題を自ら見つけだし、解決することを通じて、地域社会や世界に貢献したいという高い志をもっている人
3. 豊かな感性と表現力・コミュニケーション能力を持ち、高度情報化社会の牽引者となることを志している人

〈応用化学専攻〉

私達が将来にわたって地球上で共存し幸福に暮らしていくためには、エネルギー・情報・環境に関して生じてくる複雑な問題を科学的に解決していかなければなりません。化学は物質の存在形態と変化の本質を明らかにしようとする学問ですから、種々の課題の解決における化学の知識と技術の重要性は、新しく形を変えつつますます大きくなってきています。

本専攻は、私達の生産活動、毎日の生活や自然現象を化学的な立場から自ら進んで考え、化学技術によって人類福祉に貢献することのできる技術者、研究者の養成を目標にしています。

応用化学専攻の教職員は、一生懸命自分を高めようと頑張る学生諸君を力いっぱい支援します。

以上の観点から、本専攻では次のような人を求めています。

1. 自然界や人間社会、産業社会のさまざまな状況について高い問題意識を持ち、化学的観点から解決しようとする意欲をもっている人
2. 化学的現象について興味を持ち、工学的立場から解明しようとする意欲をもっている人
3. 化学、物理、数学などについて専門分野を学ぶために必要となる基礎学力をもっている人
4. 英語、国語の基礎的語学能力をもとに、与えられた課題について論理的かつ柔軟な発想で考察し、発表することができる人
5. 化学に関連する各種専門分野について、高度な知識や能力を身に付け、技術者・研究者として活躍する強い意志をもっている人

〈建設工学専攻〉

本専攻は持続可能（サステイナブル）な生活環境を構想し、これを維持・発展させながら、より安全で安心して暮らせる社会を、建築学の立場から構築して行くことを目標としており、以下のような高い意欲と強い情熱を持つ人を求めています。

1. 建築学を構成するそれぞれの専門分野に応じた立場から社会に貢献するため、先端の知識を理解し、高度な技術力を修得しようとする人
2. 建築の技術・機能・社会性・経済性・芸術性を包括的に把握し、総合的な視点から意思伝達のできる能力を高めようとする人
3. 専門知識を研究課題設定に応用し、研究遂行において生じる問題点を克服する解決能力を身につけ、得られた知見を論理的に記述・伝達する能力を養おうとする人

〈福祉環境工学専攻〉

本専攻はすべての人が幸福を感じられる高度福祉社会を、工学的側面から実現するための研究開発と人材養成を行うことを理念にしています。本専攻ではこのような目標に向かって努力できる人を求めています。

・建築コース

住環境向上の側面から高度な福祉社会実現を構想し、安全で安心して暮らせる社会を具現化して行くことを目標としており、以下のような高い意欲と強い情熱を持つ人を求めています。

1. 福祉環境構築のためのそれぞれの専門分野から社会に貢献するため、先端の知識を理解し、高度な技術力を修得しようとする人
2. 生活環境向上のための工学技術を社会性・経済性・芸術性などから包括的に把握し、総合的な視点から意思伝達のできる能力を高めようとする人
3. 専門知識を研究課題設定に応用し、研究遂行において生じる問題点を克服する解決能力を身につけ、得られた知見を論理的に記述・伝達する能力を養おうとする人

・メカトロニクスコース

メカトロニクスとは、電気電子工学、機械工学、制御工学、情報工学等の基盤技術を統合して扱う工学です。本コースでは、すべての人々にとって生活の質の高い社会を実現するための工学を「福祉工学」と位置づけ、その実現のためにメカトロニクス技術を利用することを考えています。このような技術による装置は、今まで人にしかできなかった作業を可能にしたり、機能の障がいを持った人を支援したりすることに役立てられます。

本コースでは、メカトロニクス技術を通じて社会のニーズに貢献する高度な技術者・研究者の育成を目標とし、次のような人材を求めています。

1. 研究・開発能力を培うのに必要な電気・電子工学又は機械・制御工学を主とした専門基礎学力を有する人
2. 自ら課題を見つけだし、その解決に意欲を有し、研究に主体的に取り組む人
3. 人の生活の質の向上を目指す「福祉工学」分野の研究や技術開発を通して、社会に貢献したい人
4. 機械工学・電気電子工学・生体工学・人間工学などの幅広い分野を含めた「福祉」を目的とした学際的工学分野に興味がある人

入学者選抜の基本方針

本研究科では、前述の「求める学生像」にふさわしい学生を選抜するため、一般入試のほか社会人入試及び外国人留学生入試を実施し、学生を選考します。

・一般入試（口述型・筆記型）

口述型では、学部での成績が極めて優秀である者か、あるいは、志望する専門分野に関する十分な基礎能力を持つ者として出身大学等により推薦された者に対して、専門基礎学力に関する口述試験による学力検査及び出願書類審査を総合して判定します。

筆記型では、入学者の選抜は、学力検査（筆記試験及び面接試験）及び出身大学等の成績証明書を総合して判定します。

・社会人入試

各種の研究機関、企業又は教育機関等で活躍している社会人の研修の継続あるいは自己再教育の場として本学大学院工学研究科博士前期課程を開放し、併せて、生涯教育に寄与することを目的としています。入学者の選抜は、書類審査及び面接の結果を総合して判定します。

・外国人留学生入試

入学者の選抜は、学力試験、面接試験及び書類等を総合して判定します。

大分大学大学院工学研究科博士前期課程ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針)

大分大学大学院工学研究科博士前期課程では、研究科の教育・研究の目標に則り、以下のような資質と能力を修得し、かつ学位審査基準を満たした学生に修士（工学）を授与する。

1. 専門分野における高度な知識・技術を有し、科学技術の進展を見据えながら、自立した技術者として新たな知識・技術を継続的に修得することができる。
2. 専門分野の新たな課題を自ら探求・発見し、問題を俯瞰的かつ多面的に捉えて整理・分析しながら解決することができる。
3. 国際的な観点から科学技術に関する情報を収集・分析し、多様化する科学技術の発展に対応できる能力と技術を自ら学習・獲得することができる。
4. 地球規模で起きている課題を理解し、それらの問題と科学技術との融合に関して技術者の視点から考察し、人類の発展に主体的に寄与することができる。

〈機械・エネルギーシステム工学専攻〉

機械・エネルギーシステム工学専攻では、博士前期課程を通じて以下の資質と能力を身につけ、所定の授業科目を履修し、かつ学位審査基準を満たした学生に修士（工学）の学位を授与する。

1. 機械やエネルギーに関する高度な知識・専門技術を有し、科学技術の進展に対する世の中のニーズを見据え、自立した技術者として継続的に知識・技術を修得することができる。
2. ものづくりに常に興味を持ち、技術の発展のために解決すべき問題を自ら見だし、高い問題解決能力とリーダーシップを持って計画的にその問題を解決できる。
3. 豊かな教養と社会性および国際性を有し、国際的観点から情報を総合的に分析し、多様化する科学技術のニーズに対応する論理的思考ができる。
4. 地球規模で起きている課題を理解し、技術者の視点から考え、常に科学技術の利用価値を見出すことができる。

〈電気電子工学専攻〉

本専攻では以下のような資質と能力を身につけ、所定の授業を履修して必要な単位を修得し、かつ修士論文の審査に合格した学生には、修士（工学）の学位を授与する。

1. 電気電子工学全般にわたる広い知識を身につけ、それを活用することができる。
2. 電気電子工学の広範な分野の中で、自ら課題を探求し、問題を整理・分析しながら解決する能力が修得できている。
3. 国際的にも活躍できる技術者・社会人として必要な論理的説明能力が修得できている。

〈知能情報システム工学専攻〉

知能情報システム工学専攻では、研究科の教育・研究の目標に則り、以下のような資質と能力を修得し、かつ学位審査基準を満たした学生に修士（工学）の学位を授与する。

1. 専門的な知識と技能・継続性
情報・知能分野の専門知識・技術を有し、技術の進展を見据えながら、自立した情報技術者として新たな知識・技術を継続的に修得することができる。
2. 課題解決能力・問題発見力
専門分野に関する新たな課題を探求・発見し、問題を多面的に捉えて整理・分析し解決することができる。
3. 基本的技能・国際性
国内外の専門知識を得るための語学力と情報収集能力をもち、多様化する科学技術の発展に対応できる能力をもっている。
4. 社会との関わり・地球規模の視点
地球規模で起きている課題を理解し、それらを情報技術者の視点から考察して主体的に寄与することができる。

〈応用化学専攻〉

応用化学専攻では以下の資質と能力を身につけ、所定の授業を履修して必要な単位を修得し、かつ学位審査基準を満たした学生に修士（工学）の学位を授与する。

1. 自然科学の基礎知識と共に、化学および応用化学の高度な専門的知識を身につけている。
2. 化学および応用化学に関連する各種専門分野について、技術者・研究者として活躍するための高度な実験技術を修得している。
3. 自然界や人間社会、産業社会のさまざまな状況について高い問題意識をもち、そこで生じる課題に対して高度な専門的知識および技術を駆使して、論理的かつ柔軟な発想で分析・考察を行い、解決する能力を身につけている。また、それらの過程および得られた結果を適切に表現し、発信する能力も身につけている。
4. 日本語および英語で表現された専門的情報を的確に理解し、課題解決に活用できる。

〈建設工学専攻〉

下記の知識・能力を習得したものに修士（工学）の学位を授与する。

1. 建築学分野の包括的な専門的知識・能力
建築を芸術、技術、文化、社会、法律、経済などの多様な文脈と歴史やライフサイクルなどの時間的展開のなかで理解し、建築学に関する幅広い専門的知識と総合的かつ体系的な識見をもち、建築と生活環境に関する企画・設計・生産・維持管理などができる基礎的能力。
2. 建築にかかわる特定領域の高度な専門的知識・能力
建築企画、建築設計・計画、都市設計・計画、住居、建築環境、建築設備、建築構造、建築防災、建築材料、建築生産、建築運用・保全、建築保存・再生などの建築の特定領域に関するより専門的な知識をもち、それを実務に適用しうる能力。

〈福祉環境工学専攻（建築コース）〉

下記の知識・能力を習得したものに修士（工学）の学位を授与する。

1. 福祉環境向上のための包括的な専門的知識・能力
建築学を活かした福祉環境向上のため、芸術、技術、文化、社会、法律、経済などの多様な文脈と歴史やライフサイクルなどの時間的展開のなかで工学を理解し、幅広い専門的知識と総合的かつ体系的な識見をもち、建築と生活環境に関する企画・設計・生産・維持管理などができる基礎的能力。
2. 福祉環境にかかわる特定領域の高度な工学的な専門的知識・能力
福祉環境の向上に資するための企画、設計・計画、都市設計・計画、住居、建築環境・設備、建築構造、建築防災、建築材料、建築生産、建築運用・保全、建築保存・再生などの建築学を中心とした特定領域に関するより専門的な知識をもち、それを実務に適用しうる能力。

〈福祉環境工学専攻（メカトロニクスコース）〉

研究科の教育・研究の目標に則り、以下の資質と能力を身につけ、学位審査基準を満たした学生に修士（工学）の学位を授与する。

1. 福祉工学分野及びメカトロニクス分野の高度な専門知識を有し、またその分野の知識を継続して習得する能力をもっている。
2. 専門分野に関する新たな課題を見つけ出し、その課題を多面的にとらえ整理し、論理的に分析し解決する能力をもっている。
3. 国内外の専門知識を得るための十分な語学力と情報収集能力をもち、多様化する価値観や科学技術の発展に対応できる能力をもっている。
4. 高度福祉社会を工学的側面からの実現しようとする意志と、自立して研究を進める能力をもっている。

外国人留学生入試募集要項

1. 募集人員

専攻	コース	講座	募集人員
機械・エネルギーシステム工学専攻	機械	機械システム	若干名
	エネルギー	熱事象学, エネルギー変換システム工学	
電気電子工学専攻	電気	制御コミュニケーション, 電磁ダイナミクス	若干名
	電子	電子デバイス工学, 電子情報システム工学	
知能情報システム工学専攻		情報科学基礎, 計算機システム, 知能システム	若干名
応用化学専攻		工業化学基礎, 応用生物化学, 機能物質化学	若干名
建設工学専攻		環境計画, 構造設計	若干名
福祉環境工学専攻	建築	人間環境工学	若干名
	メカトロニクス	人間基礎工学, 人間システム工学	

2. 出願資格

日本国籍を有しないで、次の要件を満たす者

(1) 日本語が理解できる者

(2) 次のいずれかに該当する者

(a) 外国において、学校教育における12年の課程を修了し、日本の大学を卒業した者及び2015年3月までに卒業見込みの者

(b) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2015年3月までに修了見込みの者

(c) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2015年3月までに修了見込みの者

(d) 外国において、学校教育における12年の課程を修了し、本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者

(e) 本学大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

注1. (d)については、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業生やその他教育施設の修了者等であっても、個別の入学資格審査により本学大学院への入学資格を認めることができるとしたものです。これにより出願する者は、2014年6月18日(水)までにあらかじめ学生支援部入試課に照会してください。

注2. (e)に該当する者については、出願前に入学資格の確認をする必要があるため、2014年6月18日(水)までに学生支援部入試課に照会してください。

3. 出願手続

(1) 出願期間

2014年7月22日(火)～7月28日(月) (必着) (土、日を除く)

受付時間は、9時から17時までとします。

郵送の場合は、7月28日(月)必着とします。

注. 出願を希望する者は、あらかじめ志望する専攻の希望する指導教員と研究内容について、ご相談の上、出願してください。

(2) 出願書類等

下記の提出書類を、日本語又は英語（注1）で作成してください。

書類名	備考
入学志願書 履歴書 受験票 合格通知用住所シール	本学所定の用紙
卒業(修了)証明書又は 卒業(修了)見込証明書	最終出身学校の学校長が作成したもの。
成績証明書	
返信用封筒 (受験票返送用)	本人の郵便番号・住所・氏名を明記し、362円分の切手を貼った本学所定の封筒1枚。(注2)
入学検定料振替 払込受付証明書等 (30,000円) (注3)	<p>以下のいずれかの方法により本学指定口座に振込んでください。手数料は本人負担です。</p> <p>A. 日本国内から検定料を払込む場合</p> <p>①金融機関（郵便局を含む）でお支払いの場合 本学所定の振込用紙を用い、必ず窓口でお支払いください。(ATM不可) お支払い後は「振替払込受付証明書（大学提出用）」を受験票の貼付欄に貼ってください。</p> <p>②コンビニエンスストア（一部）でお支払いの場合 下記のURLから申し込み、受付番号を入手後コンビニエンスストアでお支払いください。 お支払い後は「収納証明書（コンビニエンスストアによっては領収書）」を受験票の貼付欄に貼ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パソコンからの本学ホームページ (http://www.oita-u.ac.jp) メニュー→入試情報→入学検定料のコンビニ収納から申し込んでください。 ・携帯電話からの申し込みURL (https://www.oita-u.net/mobile/) ※フィルタリングサービスをご利用の携帯電話からはアクセスできないことがあります。 ※手数料は本人負担です。 ※納付した検定料は返還できません。 <p>B. 日本国外から検定料を払込む場合</p> <p>①「CHG SENDER (払込人負担)」で送金</p> <p>②送金金額：『検定料30,000円』 + 『日本の銀行手数料1,500円』 + ※【現地銀行手数料】</p> <p>③【現地銀行手数料】は、現地振込銀行に確認してください。 現地で振込みをする銀行とは別に、現地の別の銀行の手数料がかかる場合があります。</p> <p>④下記の要領に従って外国送金してください。</p> <p>a 送金種類：電信送金 (Telegraphic Transfer) b 支払方法：通知払 (Advise and Pay) c 送金目的：検定料 (Application Fee) d 送金先</p> <ul style="list-style-type: none"> ・銀行名：大分銀行 (THE OITA BANK, LTD.) Bank code no:0183 ・支店名：寒田団地支店 (SODA-DANCHI BRANCH) Branch code no:069 ・口座番号：普通預金 5261880 (A/C No. 5261880) ・受取人：国立大学法人大分大学学長 北野 正剛 (Oita University President Kitano Seigo) ・銀行住所：〒870-1123 大分市大字寒田952-2 (952-2 Soda Oaza Oita-shi 870-1123 JAPAN) ・スワフトコード：OITAJPJT ・大分大学住所：700 Dannoharu Oita-shi 870-1192 JAPAN <p>※送金の際、送金人 (Remitter) が出願者本人でない場合は、連絡事項 (Message) に出願者本人の氏名を記入してください。</p> <p>⑤振込み後は、「外国送金依頼書」の写しを受験票下の貼付欄にはがれないように糊付けしてください。</p>
英語能力試験の 成績証明書	電気電子工学専攻電子コース、知能情報システム工学専攻及び応用化学専攻志願者のみ提出が必要です。(注4)



- (注1) 英語文で作成した場合は、和訳を必ず添付してください。
- (注2) 受信場所が外国の場合は、国際返信切手券3枚を同封してください。
- (注3) 国費留学生（日本政府から奨学金を支給されている者）は、検定料を免除します。
- (注4) 英語能力試験の成績証明書については、試験日の2年前から出願までの間に受験した下記のいずれかの英語能力試験の成績証明書（主催者等の証明印のあるもの）を提出してください。団体特別受験制度（カレッジTOEICもこれに含まれます）で受験した場合はScore Sheet（コピー不可）を提出してください。Score Sheetの原本は複写後、受験票に同封して返却します。なお、下記の5種類の英語能力試験科目の複数を受験した場合は、各自の判断で有利と思われるものを1つ選択して提出してください。

- ・ TOEIC(R) (Test of English for International Communications(公開テスト))
 - ・ TOEIC(R)-IP (Test of English for International Communications-Institutional Program)
 - ・ TOEFL(R)-CBT (Test of English as a Foreign Language-コンピュータテスト)
 - ・ TOEFL(R)-PBT (Test of English as a Foreign Language-ペーパーテスト)
 - ・ TOEFL(R)-iBT (Test of English as a Foreign Language-インターネットテスト)
- なおTOEFLの得点は、以下の方法により換算します。
- ・ TOEFL-iBT, TOEFL-CBTの得点はETSのウェブサイトにある換算表によりTOEFL-PBTの得点に換算する。

(3) 出願方法

入学志願者は、必要書類等を一括し、所定の期間内に提出してください。郵送の場合は、本学所定の封筒を用い、書留速達にしてください。

(4) 提出先

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地
大分大学学生支援部入試課（TEL 097-554-7016）

(5) 受験票の交付

提出書類を受理したときは、受験票を送付します。

4. 障がいのある者等の事前相談について

本学へ入学を志願する者のうち、障がいのある者等で、受験上及び修学上特別の配慮を必要とする場合は、2014年7月2日（水）までに、下記の事項を記載して（様式任意）、医師の診断書を添え本学学生支援部入試課に提出してください。

- ・ 障がいの種類・程度
- ・ 受験の際に特別な配慮を希望する事項
- ・ 修学の際に特別な配慮を希望する事項
- ・ 日常生活の状況及びその他参考となる事項

5. 選抜方法

入学者の選抜は、学力試験、面接試験及び書類等を総合して行います。

6. 試験科目、期日及び場所

各専攻・コースに必要な試験科目を受験しなかった場合は、不合格となります。

(1) 学力試験及び面接試験

専攻 コース		試験科目	外国語	専門科目		面接
		日時	8月19日(火)10時～	8月19日(火)13時～	8月20日(水)10時～	
機械・エネルギーシステム工学専攻	機械	日本語 英語		注1)熱力学, 流体力学	注1)機械力学, 材料力学	8月20日(水) 学力試験終了後 に行います。
	電気			電磁気学 電気回路	電気電子数学 電子回路	
福祉環境工学専攻	メカトロニクス	注2)日本語 英語		注1)機械工学, 電気工学の中から1科目選択		8月20日(水) 15時～

専攻 コース		試験科目	専門科目		外国語	面接
		日時	8月19日(火)10時～	8月19日(火)13時～	8月20日(水)10時～	
機械・エネルギーシステム工学専攻	エネルギー		工業数学	注1)材料力学, 熱力学, 流体力学, 電磁気学, 電気回路, 電気機器の中から3科目選択	日本語 英語	8月20日(水) 学力試験終了後 に行います。

専攻		試験科目	専門科目		面接
		日時	8月19日(火)10時～	8月19日(火)13時～	
知能情報システム工学専攻			情報工学(計算機工学, アルゴリズム論, デジタル回路, 数理計画論, 多変量解析の5分野の中から4分野を選択) ※科目名は情報工学です。 ※※解答する4分野を志願書に下記の要領で記入してください。出願後の受験分野の変更はできません。 記載例: ①情報工学(計算機工学) ... ④情報工学(アルゴリズム論)	情報数学	8月20日(水) 10時～

専攻		試験科目	専門科目		面接
		日時	8月19日(火)10時～	8月20日(水)10時～	
応用化学専攻			注1)無機化学, 有機化学, 物理化学, 分析化学, 生物化学, 化学工学, 高分子化学の中から4科目選択		8月20日(水) 学力試験終了後に行います。

専攻 コース		試験科目	外国語	専門科目	面接
		日時	8月19日(火)10時～	8月19日(火)14時～	
建設工学専攻	建築	注2)日本語 英語		注1)建築構造学, 建築材料学, 建築環境工学, 建築計画・都市計画の中から1科目選択	8月20日(水) 9時～
福祉環境工学専攻				注1)木質構造学, 建築音響学, 建築計画学の中から1科目選択	

(注1) 関数計算機能を持つ電卓の持込みが可能です。ただし、プログラムが組める電卓は不可です。

(注2) 外国語については、辞書（電子辞書を含む）の持込みが可能です。

(2) 試験会場

大分大学工学部

試験会場及び試験会場への道順は、受験票裏面の案内図を参照してください。

7. 合格者発表

2014年8月29日（金）10時

大分大学教養教育棟前の中央掲示板に掲示するとともに、合格者には別途通知します。

また、本学ホームページ（<http://www.oita-u.ac.jp/>）にも合格者受験番号を掲載します。

なお、電話による合否の照会には応じません。

8. 入学手続

(1) 提出書類

合格者は、保証書を含む入学手続書類、入学料等を提出してください。（詳細は、合格通知書とともに送付する「入学案内」により準備してください。）

(2) 納付金

入学料 282,000円

授業料 535,800円（前期分 267,900円 後期分 267,900円）

1. 授業料は前期と後期に分けての納付になります。ただし希望により前期分納付の際に後期分も合わせて1年分を納付することもできます。
2. 入学料及び授業料については、免除・徴収猶予・奨学融資の制度があり、申請手続きは入学料・授業料の納付前に行う必要があります。
詳細については学生・キャリア支援課奨学支援グループ（TEL 097-554-7386）までお問い合わせください。
3. 入学料、授業料は改定の可能性があります。在学中に授業料改定が行われた場合には、新授業料が適用されます。
4. 納付した入学料は返還できません。
5. 国費外国人留学生については、納付する必要はありません。

9. 注意事項

- (1) 入学志願者から提出された出願書類等に記載されている個人情報については、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律及び国立大学法人大分大学個人情報保護ポリシーに基づき、入学選抜に係る業務・統計処理などの付随する業務以外には利用しません。ただし、入学料・授業料免除（猶予）及び奨学金を申請した者にあつては、選考資料として利用します。
- (2) 出願手続後の出願書類の記載変更は認めません。
- (3) 納付した検定料は、いかなる理由があっても還付しません。
- (4) 記載事項に虚偽の記入をした者は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。
- (5) 最初に受験する科目の試験開始時刻の15分前までに各試験室に入室してください。
- (6) 東日本大震災に関する特別措置（入学検定料等）につきましては、本学ホームページ「東日本大震災への対応に関する情報」でお知らせします。

1. Departments, Courses and the Number to be Admitted :

Departments	Courses	Specialities	Number to be Admitted
Mechanical and Energy Systems Engineering	Mechanical Course	Machine Systems	a small number of candidates
	Energy Course	Thermal Science and Engineering; Energy Conversion Systems Engineering	
Electrical and Electronic Engineering	Electrical Course	Control Communication; Electromagnetic Dynamics	a small number of candidates
	Electronic Course	Electronic Device Engineering; Electronic Systems and Wave Applications	
Computer Science and Intelligent Systems		Basic Information Science; Computer Systems; Intelligent Systems	a small number of candidates
Applied Chemistry		Basic Engineering Chemistry; Applied Biochemistry; Functional Materials Chemistry	a small number of candidates
Architectural Engineering		Environmental Planning; Structural Design	a small number of candidates
Architecture and Mechatronics	Architectural Course	Human Environmental Engineering	a small number of candidates
	Mechatronics Course	Fundamental Human Engineering; Human System Engineering	

2. Qualifications for Candidates :

Candidates must have non-Japanese nationality and meet the following requirements:

- (1) Adequate proficiency in Japanese.
- (2) One of (a), (b), (c), (d) and (e) below:
 - (a) Completion of 12 years of school education in countries other than Japan and graduation or expected graduation by the end of March, 2015 from a college or university in Japan.
 - (b) Candidates who have fulfilled the requirements of 16 years school curriculum of a foreign country by taking a correspondence course of that country in Japan, or who expect to have done so by the end of March, 2015.
 - (c) Completion of 16 years of school education or the equivalent in countries other than Japan, or expected completion by the end of March, 2015.
 - (d) Candidates must have completed 12 years of school education in countries other than Japan and must be at least 22 years of age. Furthermore, they must have reached academic standards equivalent to those of college or university graduates.
 - (e) Judgment by the Graduate School of Oita University to have equivalent academic standards to those of college or university graduates.

Notes:

1. As regards the item (d), the entrance prerequisites for the Graduate School of Oita University have been partially amended owing to the introduction of the new requirements for application : Graduate 22 or over from Japanese institutes for higher education-junior colleges, technical colleges, senshū gakkō (professional schools), kakushu gakkō (vocational schools) and so forth will be eligible to apply to graduate schools on condition that they meet the application requirements. For particulars, apply to the Entrance Examination Division, Oita University by Jun. 18 (Wed.), 2014.
2. As regards the item (e), inquiries must be made to the Entrance Examination Division, Oita University, about your qualification for being a candidate as soon as possible, at least by Jun. 18 (Wed.), 2014.

3. Application Procedures:

(1) Application Period

Application forms must be submitted to the Admissions Office during the following period:

from Jul. 22 (Tue.) to Jul. 28 (Mon.), 2014

from Mon. to Fri. 9:00 a.m. – 5:00 p.m.

To be received by Jul. 28 (Mon.) in case of mailing.

(2) Application Documents

The following documents written in either Japanese or English (See Note 1.) should be submitted:

Application for Admission Personal History Examination Admission Card Address Seal for Notices of Acceptance	Fill in the prescribed forms.
Graduation Certificate	Official transcript from the college/university attended
Certified Academic Record	
Self-Addressed, Stamped Envelope (to be used to send a examination admission card)	Write down your name, address and postcode (zip code) clearly and stick 362 yen's worth of stamps on the prescribed envelope. See Note 2.
A Receipt of the Application Fee (30,000yen) See Note 3.	<p>There are two ways of paying the application fee into the account designated by the university (Each candidate has to pay a fixed commission fee as well.) :</p> <p>A. Payment within Japan</p> <p>(1)Paying at a financial institution (including the post office) Please always pay at the teller by using the university's prescribed deposit slip. (Do not use an ATM.) After making the payment, please attach the "Proof of Payment (for Submission to the University)" to the corresponding column on the examination admission card.</p> <p>(2)Paying at a convenience store (selected stores only) Request an acceptance code from the URL below and pay at a convenience store. After making the payment, please attach the "Proof of Payment (Convenience Store Receipt)" to the corresponding column on the examination admission card. - To request the code from a PC, visit the university website (URL: http://www.oita-u.ac.jp) Go to: Menu → Entrance examination information → Application fee convenience store payment - To request the code from a mobile phone, visit the URL https://www.oita-u.net/mobile/ * This website cannot be accessed by mobile phones that use a filtering service. * You are responsible for paying the handling charges. * Application fee paid cannot be refunded.</p>  <p>B. Payment from Overseas</p> <p>① All bank charges must be paid by the candidate.</p> <p>② Amount to transfer: (¥30,000 application fee) + (¥1,500 Japanese bank handling charges) + *(local bank handling charges)</p> <p>③ Please verify the local bank handling charges with your local transferring bank. Some local banks may charge separate handling charges.</p> <p>④ Give the following information to your bank a kind of remittance : Telegraphic Transfer b method of payment : Advise and Pay c purpose of payment : Application Fee d receiver • bank name : THE OITA BANK, LTD. Bank code no:0183 • branch name : SODA-DANCHI BRANCH Branch code no:069 • account number : A/C No. 5261880 • account holder : Oita University President Kitano Seigo • bank address : 952-2 Soda Oaza Oita-shi 870-1123 JAPAN • swift code : OITAJPT • university address : 700 Dannoharu Oita-shi 870-1192 JAPAN ※ If the remitter is not the candidate, write the name of the candidate in the message.</p> <p>⑤ Stick the copy of the Remittance Application Form on the space allotted below the examination admission card.</p>
Certificate of English Proficiency See Note 4.	Only applicable to the following departments: Department of Electrical and Electronic Engineering (Electronic Course) Department of Computer Science and Intelligent Systems Department of Applied Chemistry

Note 1. Documents written in English are accepted. However, Japanese translation must be attached to them.

Note 2. Candidates who will receive the return envelope abroad have to enclose three international coupons for return postage.

Note 3. Foreign students supported by a scholarship from the Japanese Government are exempt from the application fee.

Note 4. The Certificate can only be valid when officially stamped by the testing center. The test must have been taken within two years as of the date of application. The acceptable tests are: TOEIC(R), TOEIC(R)-IP, TOEFL(R)-CBT, TOEFL(R)-PBT, and TOEFL(R)-iBT. Send the best score, if taken more than one test. TOEFL-iBT and TOEFL-CBT scores will be converted to TOEFL-PBT according to the conversion table shown by ETS on the Web. The group test known as "College TOEIC" is also acceptable only if the original score sheet is sent in. (The submitted original sheet will be returned to the candidate together with the examination admission card.)

(3) Application

All the required documents are to be submitted within a given period of time.

When posting them, every candidate has to use the prescribed envelope and send it by registered special delivery.

(4) Admissions Office Address

Entrance Examination Division, Oita University

700 Dannoharu, Oita 870-1192, Japan (TEL +81-(0)97-554-7016)

(5) Delivery of examination admission card

On receipt of the required documents, the examination admission card and receipt will be mailed to the applicant.

4. Prior Arrangement with Physically Handicapped Candidates or Other Candidates with Disabilities:

Special consideration will, if possible, be given to the candidates with difficulties in sitting for the entrance examination and in attending lectures at the university. The persons in question ought to submit a medical certificate (in Japanese or English) * as regards the following (a), (b), (c) and (d) to the Entrance Examination Division, Oita University by Jul. 2 (Wed.), 2014 :

- (a) type of disability and handicap level;
- (b) special support needed to sit for the entrance examination;
- (c) special support needed to attend lectures at the university;
- (d) obstacles in daily life and other problems.

*The form is not fixed.

5. Screening:

The screening for admission will be made on the basis of the results of the examination, the interview, and the submitted documents.

6. Examination Subjects, Date and Place:

The candidates are expected to take all the required subjects. If failed, no acceptance will be granted.

(1) Examination and Interview

Exam Subjects		Foreign Languages	Major Subjects		Interview
			Date & Time		
Departments	Courses	Aug. 19 (Tue.) 10 a. m. ~	Aug. 19 (Tue.) 1 p. m. ~	Aug. 20 (Wed.) 10 a. m. ~	
Mechanical and Energy Systems Engineering	Mechanical	Japanese and English	Thermodynamics; Fluid Engineering See Note 1.	Dynamics of Machinery; Strength of Materials See Note 1.	Aug. 20 (Wed.) After the written Exam
Electrical and Electronic Engineering	Electrical Electronic		Electromagnetics; Electric Circuits	Mathematics for Electrical and Electronic Engineering; Electronic Circuits	
Architecture and Mechatronics	Mechatronics	Japanese and English See Note 2.	Mechanical Engineering; Electrical Engineering; (Select one subject from the above.) See Note 1.		Aug. 20 (Wed.) 3 p. m. ~

Exam Subjects Date & Time		Major Subjects		Foreign Languages	Interview
		Aug. 19 (Tue.) 10 a. m. ~	Aug. 19 (Tue.) 1 p. m. ~	Aug. 20 (Wed.) 10 a. m. ~	
Departments Courses					
Mechanical and Energy Systems Engineering	Energy	Engineering Mathematics	Strength of Materials; Thermodynamics; Fluid Engineering; Electromagnetics; Electric Circuits; Electrical Machinery (Select three subjects from the above.) See Note 1.	Japanese and English	Aug. 20 (Wed.) After the written Exam

Exam Subjects Date & Time		Major Subjects		Interview
		Aug. 19 (Tue.) 10 a. m. ~	Aug. 19 (Tue.) 1 p. m. ~	
Departments				
Computer Science and Intelligent Systems		<p>Computer and Information Science (Select four out of the following five fields: Computer Architecture, Computer Algorithms, Digital Circuits, Mathematical Programming, Multivariate Analysis)</p> <p>※: The subject name of the examination is Computer and Information Science.</p> <p>※※: Applicants must specify four fields on the application form. The selected fields at the submission of the application form must not be altered. Write the subject name and field with parentheses: For example,</p> <p>①Computer and Information Science (Computer Architecture), ...</p> <p>④Computer and Information Science (Computer Algorithms).</p>	Mathematics for Computer Science	Aug. 20 (Wed.) 10 a. m. ~

Exam Subjects Date & Time		Major Subjects		Interview
		Aug. 19 (Tue.) 10 a. m. ~	Aug. 20 (Wed.) 10 a. m. ~	
Departments				
Applied Chemistry		Inorganic Chemistry; Organic Chemistry; Physical Chemistry; Analytical Chemistry; Biochemistry; Chemical Engineering; Polymer Chemistry (Select four subjects from the above.) See Note 1.		Aug. 20 (Wed.) After the written Exam

Exam Subjects Date & Time		Foreign Languages	Major Subjects	Interview
		Aug. 19 (Tue.) 10 a. m. ~	Aug. 19 (Tue.) 2 p. m. ~	
Departments	Courses			
Architectural Engineering		Japanese and English See Note 2.	Structural Engineering; Building Materials; Architectural Environmental Engineering; Architectural Planning & City Planning (Select one subject from the above.) See Note 1.	Aug. 20 (Wed.) 9 a. m. ~
Architecture and Mechatronics	Architectural		Timber Engineering in Architecture; Architectural Acoustics; Architectural Planning (Select one subject from the above.) See Note 1.	

Note 1. Candidates are allowed to use an electronic calculator which has simple function capabilities but does not have programming capabilities.

Note 2. Candidates are allowed to use dictionaries (including electronic ones).

(2) Place of Examination

Faculty of Engineering, Oita University

(See the guide map on the back of examination admission card.)

7. Announcement of Results:

Date of Announcement: Aug. 29 (Fri.), 2014(10:00a. m.)

The results of screening will be posted on the central notice board to the Liberal-Arts Education Building on the campus and will be mailed to each one of the candidates.

The results will also be announced on the university's home page (<http://www.oita-u.ac.jp/>); however, telephone inquiries about them will not be responded to.

8. Entrance Procedures:

(1) Documents to be Submitted

Each of the successful candidates is required to submit several documents including a written guarantee, and to pay an admission fee, etc. (For further details see the “Admission Guidance Pamphlet” enclosed with an acceptance letter.)

(2) Payment of Fees

Admission fee ¥282,000.

Tuition ¥535,800 annually.

¥267,900 for the first semester

¥267,900 for the second semester

1. Payment of tuition is divided between the first and second semesters. However, if desired, the full year's payment can be made when paying for the first semester.
2. Exemptions, deferred payments, or scholarship loans can be availed for the payment of admission fee and tuition. Application procedures must be commenced prior to paying for admission fee and tuition. For details, please contact the Student and Career Assistance Division's Scholarship Support Group (TEL +81-(0)97-554-7386).
3. Admission fee and tuition are subject to change. If tuition is revised while you are enrolled, the new rate of tuition shall apply.
4. Fees paid cannot be refunded.
5. Japanese Government Scholarship Students are exempt from the payment.

9. Notes:

- (1) In accordance with the Act for Protection of Personal Data Held by Administrative Organs and with the Oita University's Policy on Protection of Personal Data, the personal data written in the submitted documents will be used only as materials for entrance examination affairs including a screening of candidates for scholarships and for exemption from the admission fee (or for postponement of payment of them) .
- (2) Candidates are not to rewrite the contents of submitted documents after completing application procedures.
- (3) The application fee is not refundable in any case.
- (4) If false descriptions are found out in the submitted documents, admission to the university will be revoked at any time.
- (5) Candidates are to enter their respective examination rooms by 15 minutes before their first examination starts.
- (6) Information regarding special measures related to the Tohoku Earthquake (concerning application fee, etc.) shall be posted on the “Information on the Response to the Tohoku Earthquake” section of the university website.

Entrance Examination Division, OITA UNIVERSITY
700 DANNOHARU, OITA 870-1192, JAPAN

(TEL +81-(0) 97-554-7016)

(FAX +81-(0) 97-554-7472)

(E-mail nyucenter@oita-u.ac.jp)

(URL <http://www.oita-u.ac.jp/>)

大分大学学生支援部入試課
〒870-1192 大分市大字旦野原700番地

(TEL 097-554-7016)

(FAX 097-554-7472)

(E-mail nyucenter@oita-u.ac.jp)

(URL <http://www.oita-u.ac.jp/>)